

福島大学・福島県立医科大学
東京シンポジウム

ほんとの空が 戻る日まで

— 福島の復興と地方創生 —

日時 2015年
11/8 日 13:00 ~ 17:30



小泉 進次郎氏



糸井 重里氏



開沼 博

参加募集人数 **450名**

参加費無料

事前申し込みが必要です。参加ご希望の方は裏面の参加申込書にて**10月20日**までにお申し込み下さい。
(事前申込み制 定員になり次第、締め切ります)

参加対象者 一般市民、大学関係者、学生、行政職員、
福島県から避難している方 他

プログラム

- I 部** 特別鼎談 「未来を拓く開拓者たち～復興と人づくり・地域づくり～」
小泉 進次郎氏 / 糸井 重里氏 / 開沼 博
- II 部** 福島の実況報告
- III 部** パネルディスカッション
「福島の復興と地方創生」

- 主 催：国立大学法人福島大学、公立大学法人福島県立医科大学
- 後援(予定)：文部科学省、復興庁、福島県、双葉地方町村会、
公益社団法人経済同友会 他
- 協 力：国立大学法人一橋大学、伊藤園

会 場 **一橋大学 一橋講堂**

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内



■東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線「神保町駅」
(A9出口) 徒歩4分

※A8出口は、近隣ビルの工事のため平成25年10月5日から閉鎖しております。お越しの際にはA9出口をご利用ください。

■東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口) 徒歩4分

福島大学・福島県立医科大学／東京シンポジウム

開催目的

福島で起きている災害弱者の孤立化、復興関連死等の問題は、今後、少子高齢化社会が激化する中で日本各地に出現する諸問題と共通性を持っています。これまで地方が内包してきた第一次産業の衰退や少子高齢化等の問題は、今後、日本各地で激化する深刻な問題ですが、そうした諸問題が、福島では東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故を契機に急速に表面化しました。福島の地域復興の現状を把握し復興を進めるとともに、その復興過程で得られる経験(工夫・知恵)を、復興のみならず今後の地方復興・創生につなげ、「復興知・支援知」として活かし発信していくことは重要であります。そのために、私たちは大震災・原発事故から何を学び何から始めなければならないのか、市民・学生等、参加者にこの課題を提起し探究いたします。

プログラム

受付	12:50～	DVD上映	うつくしまふくしま未来支援センター活動紹介
開会	13:00～	挨拶	中井 勝己 福島大学長 菊地 臣一 福島県立医科大学理事長兼学長
I 部	13:20～ 14:20	特別鼎談	「未来を拓く開拓者たち ～復興と人づくり・地域づくり～」  小泉 進次郎 氏 (衆議院議員・ふたばの教育復興応援団)  糸井 重里 氏 (ほぼ日刊イトイ新聞主宰)  開沼 博 (FURE特任研究員)
II 部	14:40～ 15:45	福島の現状報告	うつくしまふくしま未来支援センター報告 中田 スウラ FUREセンター長 福島県立医科大学報告 谷川 攻一 福島県立医科大学副学長 FURE食・農復興支援担当報告 小山 良太 FURE副センター長 FURE放射能汚染対策担当報告 塚田 祥文 FURE部門長
III 部	16:00～ 17:20	パネルディスカッション	「福島の復興と地方創生」 [モデレーター] ■ 山川 充夫 氏 帝京大学教授(福島大学名誉教授) [パネリスト] ■ 清水 潔 氏 明治大学特任教授・元文部科学事務次官 ■ 斎藤 喜章 氏 特定非営利活動法人 ふくしま飛行協会理事長 ■ 財界 ■ 竹之下 誠一 福島県立医科大学復興担当理事 ■ 本多 環 FUREこども・若者支援部門 特任教授
閉会	17:20～ 17:30	閉会挨拶	中田 スウラ FUREセンター長

※シンポジウムの妨げになる行為がある場合は、ご退場いただくことがあります。

※FURE=うつくしまふくしま未来支援センターの略

ほんとの空が戻る日まで 参加申込書

10月20日(火)までに

FAXまたはe-mailでお申し込みください。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

FAX.024-504-2865

mail▶fure@adb.fukushima-u.ac.jp

氏 名	勤務先・学校
(代表者)	
連絡先 (電話番号)	

こちらからも参加申込ができます
<http://ws.formzu.net/fgen/s51615164>



お問い合わせ先

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター TEL.024-504-2865